

平成27年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ポート・ロイヤル緊急対応改善計画」贈与契約署名式

2016年3月30日、中野大使は、カリブ海事学校で行われた、平成27年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ポート・ロイヤル緊急対応改善計画」の贈与契約署名式に出席しました。

カリブ海事学校では訓練の必須項目として、救急救命及び消火活動を学びますが、救急車はなく消防車は動かなくなった中古車を使用しており、必要な訓練が実施できない状況にあります。また、ポート・ロイヤル市街の消防署には、消防車は一台もありません。このプロジェクトでは、日本外交協会を通じて、中古の消防車3台と救急車1台が提供されます。

カリブ海事学校に救急車と消防車を一台ずつ、同校から8キロ西に位置する消防署、同じく7キロ東に位置するドナルド・クアリ公立高校にそれぞれ1台ずつ消防車を配置する予定です。ポート・ロイヤル地区における緊急対応活動の改善とともに、海事学校の学生により良い訓練環境を提供します。

当日の署名式へは、ピンノック・カリブ海事学校校長、ドブソン・東部キングストン・ポートロイヤル地区顧問、交通・鉱業省関係者、カリブ海事学校関係者、消防署関係者、JICA関係者など約40名が出席しました。

ピンノック校長をはじめとする来賓は、日本政府とJICAの支援への感謝とポート・ロイヤル地区で緊急対応が改善されることの喜びを述べるとともに、寄贈される車両を大切に使うことを約束し、県民の人命救助と学生の訓練のために尽力すると述べました。

中野大使は、日本政府は国民の保護と自立を重視する人間の安全保障に基づき、ジャマイカの持続的な発展を支援しており、本プロジェクトによってジャマイカの人々の日々の安全な暮らしに貢献できることを嬉しく思うと述べました。また中野大使は過去に日本政府より寄贈されたボートの視察を行い、大切に活用されていることを確認しました。



署名する本使とピンノック校長



小切手の引渡し



ピンノック校長とともに、日本政府が寄贈したボートを視察する本使、JICA 所長